

「木曾地域保健福祉連絡会議」まとめ

令和6年9月

長野県木曾保健福祉事務所

1 木曾地域保健福祉連絡会議



- 日時 令和6年7月24日(水)15:00～17:15
- 会場 木曾合同庁舎 401・402会議室
- 出席者 町村(副町村長・健康福祉担当課長)
木曾広域連合(事務局長・福祉健康課長)
町村社会福祉協議会(事務局長)
木曾病院(院長・副院長兼事務部長)
木曾保健福祉事務所(所長・副所長・各課長)
- 意見交換テーマ「人口減少下における保健・医療提供体制について」
 - (1) 情報共有
 - ① 保健関係事業の広域化の検討
 - ② 「今後の医療提供体制について」情報交換会結果報告
 - (2) 意見交換(グループワーク)

2 地域の課題

▶ 保健関係事業の広域化の検討(大桑村)

○課題 保健師を募集しているが、応募がなく採用できない

○保健師不足を補うための3つの提案

- ① 保健師の広域的な採用を具体的に検討
- ② 乳幼児健診や特定健診の共同実施
- ③ 不登校児童等への対応を心理師等の専門職に委ねる(ただし採用は困難)

▶ 「今後の医療提供体制について」情報交換会結果報告(保健福祉事務所)

○課題 診療所医師の高齢化や後継者確保の困難さ

人口減少による診療所経営への影響やスタッフ確保の困難さ

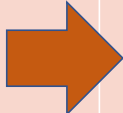
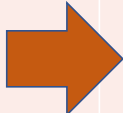

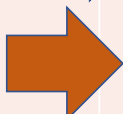
3 意見交換①

① 保健事業をどのように維持していくか

課 題	対 策
保健師人材の確保 ・募集しても応募がない	広域での採用 ・広域連合で募集、採用 ・広域、町村合同での採用説明会を開催
相談 ・住民ニーズの多様化 (保健師の意図と住民の期待との違い) ・社会福祉士や精神保健福祉士等がおらず 保健師の負担が大きい	専門職の採用 ・医療とのつなぎ役となる相談員を確保 ・広域で募集、採用(郡で1~2名程度) 保健福祉事務所、町村、社協との協議の場を設置
検診 ・乳幼児健診対象児の減少 ・特定健診、ヘルスケアの受診率の低下 ・検診を行う医師の不足	実施方法 ・検診場所の集約化(合同開催)等の工夫 ・検診医師確保を木曽病院、病院機構で支援

3 意見交換②

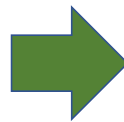
② 診療所をどのように維持していくか

課 題	対 策
診療所医師の高齢化と後継者困難 医療スタッフの不足	 国、県への医師のあっせん依頼 医師、医療スタッフの広域採用 医師報酬の引き上げ・奨学金の造成 地元出身医師への働きかけ・高校生への普及啓発 開業医を木曽病院の非常勤医師として任用
患者数の減少による診療所の 機能維持、運営困難	 診療所の統廃合や適正な配置 診療所運営の助成 ICT活用、オンライン診療の推進 コンサルなどの第三者による客観的な見解
患者の高齢化に伴う交通手段の確保	 公共交通の整備、移送サービス等の充実
その他 ・最先端医療の提供確保 ・木曽病院の体制や診療所との役割分担	 木曽病院の体制維持 木曽病院との連携強化と役割分担

4 まとめ

① 保健事業の維持

保健師・検診体制の確保



事業の町村合同実施や、
木曽地域全体での保健師等確保
 を考えていくことが必要

② 診療所の維持

医療提供体制の確保



人口減少を見据えた**具体的な検討**
 が必要

- ・医師、スタッフの確保
- ・診療所の適正配置
- ・運営助成や交通支援
- ・木曽病院との役割分担 等